

# うらほろスタイルのご紹介

vol. 9

これまで8回にわたり、うらほろスタイルの活動内容や、そこに関わる方々について、ご紹介してきました。今回は、そんな活動のさらなる発展のために

生まれたうらほろスタイル推進事業の活動拠点である「うらほろスタイル複合施設FUTABA A（フタバ）」（以下、「FUTABA B A」）についてご紹介いたします。

●「FUTABA」ってどんなところ？

「FUTABA」は、旧フタバ薬局さんの店舗と住宅を改装してできた交流施設です。旧店舗側が交流スペース、旧住宅側が宿泊スペースになっています。「FUTABA」には主に6つの機能が複合されています。

うらほろスタイル  
複合施設  
FUTABA(フタバ)



フタバ外観

## 1 北海道教育大学釧路校サテライトキャンパス

平成24年から浦幌町の教育を研究するために来町している北海道教育



釧路校学生

大学釧路校（以下、釧路校）の浦幌での活動拠点となっています。毎年実施されている「浦幌町民泊体験実習」（浦幌町の小学生が授業の中で体験している民泊体験学習（3月号参照）を、教師を目指す学生自身も体験するための実習）の入村式や退村式の会場として、また浦幌小学校での教育実習（例年約5週間）中の滞在・生活拠点として利用されています。

さらに釧路校では、学生がうらほろスタイルをモデルにした学びを進めているため、町内の関係者が非常勤講師として浦幌での取り組みを紹介することがあります。今年度は新型コロナウイルス感染症対策により対面での講義ができないため、フタバを発信拠点にして通信による講義を行っています。

2 「浦幌部」の活動拠点  
町を盛り上げようと自主的に活動する高校生団体「浦幌部」（7月号



浦幌部

参照)の活動拠点にもなっています。町外の高校へバラバラに通い、夜遅い時間に帰町する高校生が安心して集い、打合せを行ったり、学びを深める場となっています。

### 3 町外の学生と町民との交流拠点

北海道教育大学釧路校だけでなく、管外の大学生で本町の一次産業、教育、うらぼろスタイルを通じたまちづくりを学びに来町される方にも利用されています。そんな彼らと、町内の子どもたちをはじめ、町民との交流拠点となっています。



北大留学生フィールドワーク発表会

### 4 子どもの思い実現ワークショップの実施場所

小中学生が考えた、町への要望や活性化案を実現するために大人が知恵を絞る「子どもの思い実現ワークショップ」(2月号参照)の実施拠点となっています。



子どもの思い実現ワークショップ

### 5 町民同士の交流拠点

小中学生が宿題をしたり、各団体の会議や勉強会の会場として、また、個人でチャレンジシヨップを開いたり、お茶会・ランチ会などと、町民の皆様によって様々な使われ方がされています。

施設管理の委託業務を行う、NPO法人うらぼろスタイルサポートによる自主企画も定期的に行われています。



アコースティックコンサート

### 6 町外から訪れた学生、企業人の滞在・活動拠点

宿泊スペースは、町外からうらぼろスタイルを学びに来町する学生や若者、浦幌の新規事業創出などに尽力するため来町する企業人をはじめ、町事業に関わって来町する方の滞在・活動拠点として機能しています。

### ●利用方法

交流スペースの個人利用については、予約が無い場合いつでも無料でご利用いただけます。団体利用・貸切利用の場合は事前予約が必要となります。申請にあたって必要な手続きなどはFUTABA(070-7402-2108)管理業務委託者NPO法人うらぼろスタイルサポート)までお気軽にお問合せください！使用料は左記のとおりです。

使用者区分	貸付料金	
	通常使用 (1時間あたり)	販売等営利目的使用 (1日あたり)
高校生 大学生	町内	無料 / 1000円
	町外	無料 / 2000円
一般	町内	500円 / 3000円
	町外	1000円 / 6000円
備考 1.中学生以下無料 2.大学生には、高専生、専門学校生なども含む。 3.30分以下の端数はすべて1時間の半分の料金、31分以上は1時間分の料金として算定。 4.冬期間(11月から翌年4月まで)は使用料に3割を加算(暖房費)する。		

本号も最後までお読みいただきありがとうございました！